

# THE ・ 闇カレー

～おいしいカレーを作りたい（）～

著作 パワーハ

## ◆ はじめに

去年、闇鍋をした俺たち一同は今年も新たな刺激を求めている。鍋の次に闇にできるものは何があるだろうか……と。悩んだ挙句思いついたのがカレー。

よし！ 闇カレーを作ろう！ ということでこの夏休みに集まったのだ。

## ◆ 買いたしだ———！

まずは食材を買い出しに行った。学校の近くの西友で各々が直感的にカレーに入れる食材を買う(実はこれが一番おもしろい)。もちろん、他の人の材料は知らない。思わぬ食材の組み合わせがより深い闇カレーを生み出すのだ。

しかし、カレーは何にでも合うということで有名だ。会誌のネタがなくなるのではないのかという不安と、今回は大丈夫そうだという安心感が現場にはあった。

だが、まさかあんなことになるとは……。

## ◆ 作るぞ———！！

一人暮らしのメンバーの家を借りてさっそく作り始める。順番で一人ずつ台所に行き、食材を入れていく。後半になればなるほど闇のカレーになっていくだろう。

このタイミングでそれぞれが買った食材の写真を撮った。写真は次のページに載せてある。もちろん、ここではまだお互いの食材は知らない。

なお、3回作りました。

## ◆ 食材紹介



ネギ味噌、ポテコ、食パン、さつまいも  
豚巻ウィンナー、チーズ

もやし、バナナ、とろろ、タコ、  
七味唐辛子、シナモン、オレガノ



チーズ、福神漬け、かにかま、しらす、  
(きのこの山)



ポップコーン、抹茶ラテ、アケエリア  
ス、ホワイトチョコ、シナモン、ココナツ、  
コーヒブッセ、生ハム、タコウィンナー、  
ベーコン、



ひでえ……。

## ◆ 1 回 目 の カレー



どうだ、見た感じおいしそうだろ。うん、見た目だけなんだ……。

味はひどいものだった。カレーのくせに甘い。甘いといっても**変な甘さ**。辛いのに甘い、甘辛いじゃないなくて、辛いかつ変な甘さ。具の**バナナ**を食べた時はきつかったな……。

そして、人によって味が違う！ 食べられる人がいる一方で、まったく食べられない人も。食べ比べてみたら確かに違ったよ……。カレーってこんなにはっきりと味の層が分かれていたものか？

もう、食いたくないよこのカレー……。

※もちろん、スタッフがおいしくいただきました。

### **主な戦犯**

シナモン、バナナ、抹茶ラテ、ホワイトチョコ、コーヒブッセ  
つまり、甘い系

## ◆ 2 回 目 の カレー



1回目のひどさから、さっそく一同は闇カレーにおののいていた。つ、次は食べられるもの作ろうよ！みなは誓った。

……で、できたものがこれ。キ、キーマカレー!?

一同は恐る恐るカレーを口に運んだ……。……。ん？ 普通だ！ でも味がない。カレーは風味だけ。なんだよこれ、液体のところすらぶつぶつする。すべてが具。味がないが。でも、悪くはない。1回目と比べたら断然食える。味がないけどね。

完食間際でこの味と似たものを思い出す。そうだ、カップヌードルのカレー味の汁を薄めたやつだ！ そう言われればそうである。まあ、味がないほど薄いけど。

※スタッフがおいしくいただきました。

### 主な戦犯

ポテコ、ポップコーン、ココナッツパウダー  
でも、他と比べたらましかな。

## ◆ 3 回 目 の カレー



時間はすでに深夜。なぜ闇カレーを3回もやってしまったのか……。

最後においしいカレーを作ろうと誓いあい、できたのがこれ。  
ルーを入れる前すでにカレー色になっていたのは気のせいなのか……。

さっそく一口。ん!? 甘い、甘いぞ!

1回目の変な甘さとは違う。もっとちゃんとした甘さ。すっきりしている甘さ。  
というより、カレーの味がしないぞ。

ここでネタばらし! なんとアケリアスを入れやがったのだ。分量間違えただろ  
言われてみればそうだ。この甘さはまさしくアケリアス! 現場では深夜のためか、  
『アケリアス食ってる時にカレーの話するなよ!』と謎ギャグが受けてしまう始末。

### 主な戦犯

## アケリアスの粉

## ◆ まとめ

今回、集まって分かったことは、ロックマン2は難しい。深夜から始めて、終わったのが次の日の昼。もう眠い眠い。よくクリアできたなと思う。特に大変だったのは、クイックマンステージとワイリーステージ1かな。他には……。……え、闇カレー？ ナニソレマズイノ？ うう、カレー、カレー……。うわあああああ

はい、闇カレーの話ですね。もう、記憶から封印したいほどだよ。3食も連続で普通じゃないカレーだったせいか、当分カレーは食べたくなかった。ちょっと恐怖を感じていたのかもしれない。今は大分ましになってきたけど。

でも、この闇カレーで得たものは後ろ向きな成果だけではない。この闇カレーを食べた一同が感じたことがある。いつも食べているカレーはなんておいしいものだったのかと……。カレーだから何でも合うのではない。作っている人が上手いからそのカレーは何でも合っておいしいのだ。また、いつも食べていたおいしいカレーに感謝。今後、学食のカレーを食べた時に涙しながら食べられそうだよ。本当はカレーってこんなにおいしいのかって。しかも値段もリーズナブルだ。なんと、この闇カレー3食セットは3000円以上かかっているのだ。

読者の方も、カレーなどの食べ物を食べる時は、作った人と自然の恵みに感謝して食べよう。いつもの食べているカレーはとてもおいしいものなのだ。

さて、次の闇はどうしようかな。

## ◆ 参加者

パフーハ、ナスビ、クレイジー、3548